

# 那覇国際高等学校

## 令和4年度推薦入学者選抜合否判定手順 公開資料

### 1 募集人員

- (1) 普通科：募集人員は入学定員（320名）の20%以内プラス特別枠5%以内とする。
- (2) 国際科：募集人員は入学定員（40名）の30%程度プラス特別枠5%以内とする。  
※特別枠とは沖縄県立高等学校入学者選抜実施要項2（4）但し書きに基づくものである。本校では「勤怠・成績が特に優秀であり、上級学校進学への目的意識が明確かつ高く、特別活動において実績のある生徒」を求める。

### 2 出願資格

令和4年3月に県内の中学校を卒業見込みの者で、志望学科（普通科、国際科）に対する目的意識が明確であり、かつ、当該学科への興味・関心、及び本校の教育課程を履修する学力を有する者。

### 3 出願要件

- (1) 沖縄県立高等学校入学者選抜実施要項の「2 推薦入学 (3)出願の要件」にある自己表現または個性表現において、顕著な実績を有すること。
- (2) 調査書の評定平均（1～3年の5段階評定の平均）が、4.3以上であること。

### 4 特記事項Ⅰ

- (1) 中学校3年間を通して、「無届け欠席」が3日以上ある者。
- (2) 調査書の評定に1がある者。
- (3) 調査書に問題行動の記載がある者。

### 5 特記事項Ⅱ

以下の事項に該当する者は、必要があれば面接で確認し、判定会議において確認する。

- (1) 帰国子女等：海外または日本国主権の及ばない地域において、継続して1年以上教育を受けた者で、かつ、志願時点で帰国後2年以内の者。
- (2) 長期欠席者：いずれかの学年において、病欠・届出による欠席が30日以上のある者。

## 6 判定方法

### (1) 各圏の設定

#### ① A圏

内申合計点順で募集人員の80%程度の人数が含まれるように範囲を設定してA圏とする。  
ただし、A圏における特記事項Ⅰ該当者はB圏として審議する。

#### ② B圏

内申合計点順で募集人員の110%程度の人数が含まれるように範囲を設定し、それからA圏を除いた者をB圏とする。

#### ③ C圏

A圏とB圏を除いた残りをC圏とする。

### (2) 帰国子女

帰国子女等については可能な限り配慮するが特別に帰国子女枠を設定しているものではない。

### (3) 普通科判定手順

ア 要件確認：出願の要件を満たしているかを確認する

イ 第1審議：特別枠合格者の審議

ウ 第2審議：A圏の審議

エ 第3審議：C圏の審議

オ 第4審議：B圏の審議

※通学区域外合格者の総数は、募集人員の10%以内とする。

### (4) 国際科判定手順

ア 要件確認：出願の要件を満たしているかを確認する

イ 第1審議：特別枠合格者の審議

ウ 第2審議：A圏の審議

エ 第3審議：英検2級以上の審議

オ 第4審議：C圏の審議

カ 第5審議：B圏の審議

## 7 B圏の審議の具体的方法

### (1) ランク分け

① 「自己表現」で申請した者は、推薦申請書と証明する資料の写しより抜き出した最上位の実績の1項目について4ランクに分けて審議する。

活動	1ランク	2ランク	3ランク	4ランク
文化 スポーツ	県代表 全国・九州大会出場	県大会出場 地区代表相当	学校代表相当	・1～3ラン クに該当し ない実績
社会 ボランティア	表彰の規模が全国レ ベル	表彰の規模が県レ ベル	表彰の規模が学校レ ベル	
資格取得 *主な資格・ 検定	英検2級以上 漢検2級以上 数検2級以上	英検準2級 漢検準2級 数検準2級	英検3級 漢検3級 数検3級	

※ 推薦申請書の活動分野に記された内容でランク分けを行う。

※ 団体競技においては登録メンバーであること

※ 文化活動の大会、コンテスト等は全県的に組織された団体の主催するものとする。

※ スポーツ活動の大会、コンテスト等は全県的に組織された団体の主催するものとする。

※ その他の活動及び資格については判定会議で審議する。

② 「個性表現」で申請した者は、申請のあった内容を発表させ、複数の審査員で「自己表現」のランクを参考に評価する。